



ニッセイ・インデックス・SOX(米国半導体株)

追加型投信/海外/株式/インデックス型

改めて知るSOX指数

(2026年3月のリバランスと指数算出ルールについて)

当ファンドはSOX指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざします。当レポートでは、同指数の2026年3月の構成比率の調整(リバランス)と算出ルールについて解説します。

構成比率の調整(リバランス)のご報告

SOX指数は、**年4回リバランス**を行います。比率は時価総額を基準とし、**特定の銘柄への過度な偏りを避けるためウェイトキャップ(構成比率の上限)を設けています**。上位3銘柄には相対的に高い上限を適用しており、2026年3月のリバランスではマイクロン・テクノロジーがその一角に加わりました。

上位組入銘柄 (2026年3月リバランス時)

	銘柄	ウェイト キャップ
1	エヌビディア	12.0%
2	ブロードコム	10.0%
3	マイクロン・テクノロジー	8.0%
4	マーベル・テクノロジー	4.0%
5	アドバンスト・マイクロ・デバイセズ (AMD)	4.0%
6	K L A	4.0%
7	ラムリサーチ	4.0%
8	インテル	4.0%
9	アプライド・マテリアルズ	4.0%
10	クアルコム	4.0%

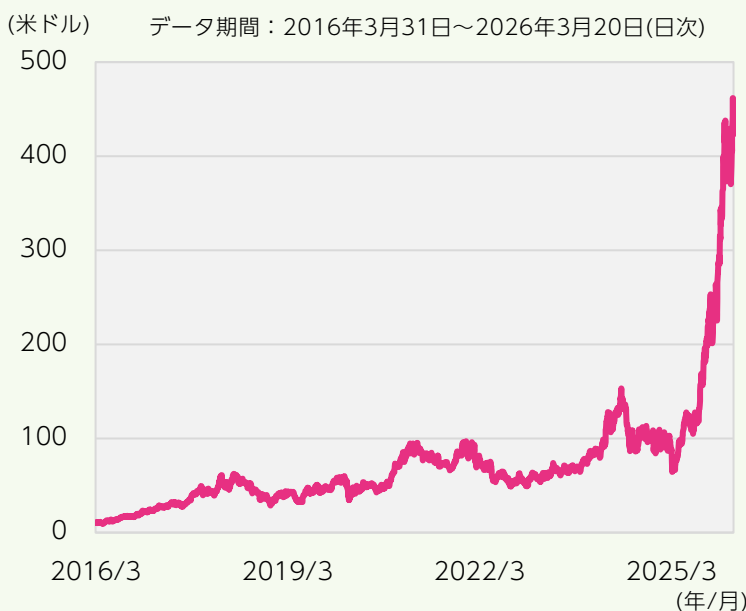
現行の指数算出ルールが適用された**2024年4月以来初めて、**

組入銘柄の第3位(8%)に

「マイクロン・テクノロジー」が入りました。

※算出ルールについては次ページをご覧ください。

マイクロン・テクノロジーの株価推移



出所) ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は特定の銘柄を推奨するものではありません。

SOX指数をおさらい

SOX指数（フィラデルフィア半導体株指数）は、**米国上場の主要な半導体30銘柄**で構成され、設計・製造から製造装置、流通・販売まで各分野をカバーする株価指数です。半導体はデジタル社会の基盤であり、生成AIやデータセンター、EV・自動運転、省電力化を支えるパワー半導体などを背景に、中長期的な需要拡大が見込まれます。SOX指数のインデックス運用を行う当ファンドでは、銘柄入替とリバランスにより、特定銘柄への偏りを抑えつつ業界の進化を反映した銘柄に分散投資を行うことができ、半導体市場の成長機会を享受することが期待できます。

銘柄入替とリバランスの仕組み

SOX指数は「時価総額加重平均」で算出されますが、特定銘柄への偏りを防ぐため、以下のルールに基づき維持・管理されています。

銘柄の見直し	毎年9月に構成銘柄の入替を実施します。
リバランス	年4回(3・6・9・12月)に構成比率を調整します。
ウェイトキャップ (2024年4月22日から 現行ルールを適用)	リバランス時には構成比率の上限が適用されます。 上位3銘柄はそれぞれ12%、10%、8%、それ以外の銘柄は4%が上限 となります。 ・リバランス直後は上限内に収まりますが、その後の株価変動によって、次回の調整時まで一時的にこれらの上限比率を上回る場合があります。

上位3銘柄の変遷

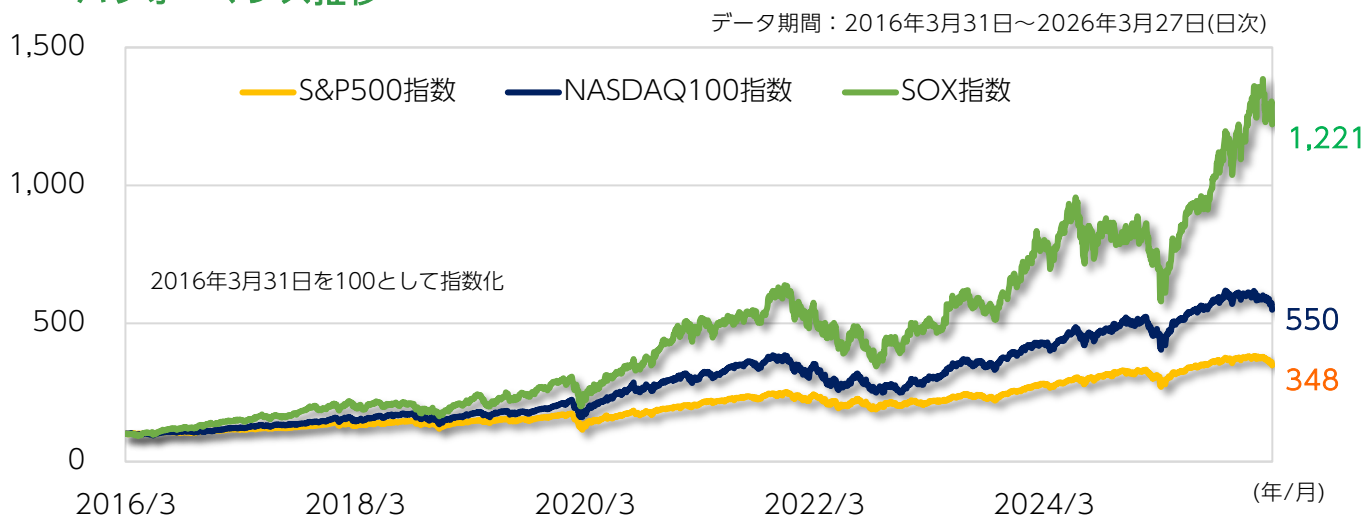
リバランス時期	第1位 (ウェイト12%)	第2位 (ウェイト10%)	第3位 (ウェイト8%)
2024年4月22日 (ウェイトキャップ 変更時)	エヌビディア	ブロードコム	アドバンスト・マイクロ・ デバイセズ (AMD)
2024年6月	エヌビディア	ブロードコム	アドバンスト・マイクロ・ デバイセズ (AMD)
2024年9月	エヌビディア	ブロードコム	アドバンスト・マイクロ・ デバイセズ (AMD)
2024年12月	ブロードコム	エヌビディア	アドバンスト・マイクロ・ デバイセズ (AMD)
2025年3月	エヌビディア	ブロードコム	台湾セミコンダクター (TSMC)
2025年6月	エヌビディア	ブロードコム	台湾セミコンダクター (TSMC)
2025年9月	エヌビディア	ブロードコム	アドバンスト・マイクロ・ バイセズ (AMD)
2025年12月	エヌビディア	ブロードコム	アドバンスト・マイクロ・ デバイセズ (AMD)
2026年3月	エヌビディア	ブロードコム	マイクロン・ テクノロジー

出所) NASDAQ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記は特定の銘柄を推奨するものではありません。

<ご参考>主な米国株価指数との比較

	SOX指数	S&P500指数	NASDAQ100指数
算出会社	Nasdaq,Inc.	S&P Dow Jones Indices	Nasdaq,Inc.
算出開始日	1993/12/1	1957/3/4	1985/1/31
特徴	米国上場の 主要な半導体関連30銘柄 で構成(時価総額加重型)	米国市場に上場する銘柄から、時価総額等をもとに S&P Dow Jones Indices社が選定した500銘柄 で構成(時価総額加重型)	NASDAQ市場に上場している銘柄のなかから金融銘柄を除いた 時価総額上位100銘柄 で構成(時価総額加重型)
リバランス	年4回(3・6・9・12月)	年4回(3・6・9・12月)	年4回(3・6・9・12月)

パフォーマンス推移

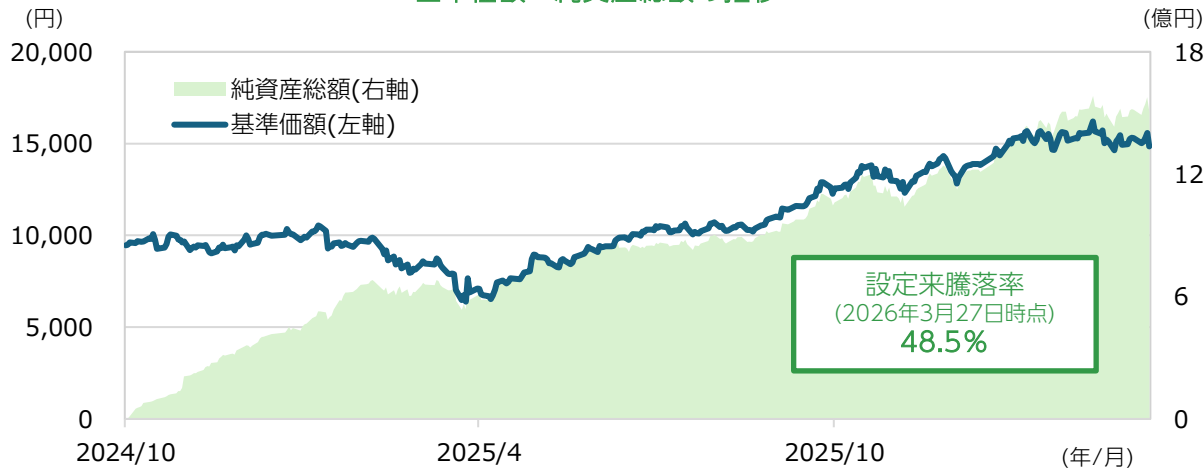


出所)ブルームバーグのデータ等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
各指数は米ドルベース、配当込み 上記は当ファンドの運用実績ではありません。

ニッセイ・インデックス・SOX(米国半導体株)

2026年3月27日時点での純資産総額は15億円、基準価額は14,853円(設定来騰落率：48.5%)となっています。

基準価額・純資産総額の推移



データ期間：2024年10月16日<設定日>～2026年3月27日(日次)
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後、1万口当りの値です。

ファンドの特色

①米国の株式等に投資することによりSOX指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動する投資成果をめざします。

SOX指数とは

正式名称を「PHLX SEMICONDUCTOR SECTOR指数」といい、米国上場の主要な半導体関連30銘柄で構成されている株価指数です。「フィラデルフィア半導体株指数」とも呼ばれており、半導体の設計や製造、流通、販売などを手掛ける銘柄で構成されています。

②原則として、対円での為替ヘッジは行いません。

③年1回決算を行います。信託財産の十分な成長に資することに配慮し、分配を抑制する方針です。

! 将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。また、SOX指数(配当込み、円換算ベース)の動きに連動することを目標に運用しますので、SOX指数(配当込み、円換算ベース)の動きにより基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。

! 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、多量の換金の申込みが発生し換金代金を短期間で手当てする必要がある場合や組入資産の主たる取引市場において市場環境が急変した場合等には、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引ができないリスク、取引量が限定されるリスク等が顕在します。これらにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金の申込みの受付を中止する、また既に受付けた換金の申込みの受付を取消する可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ファンドのお取引に関しては、クーリング・オフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 3.3% (税抜3.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ● 料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金時	信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に 年率0.462% (税抜0.42%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
	監査費用	ファンドの純資産総額に年率0.0011%(税抜0.001%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、資金動向、市況動向等によっては方針通りの運用ができない場合があります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なしに変更されることがあります。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。なお、各指数の詳細につきましては、当社ホームページ(<https://www.nam.co.jp/education/handbook/copyrights.html>)をご確認ください。

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
九州FG証券株式会社	○		九州財務局長(金商)第18号	○			
株式会社鹿児島銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)		○	九州財務局長(登金)第2号	○			
株式会社肥後銀行 (委託金融商品取引業者 九州FG証券株式会社)		○	九州財務局長(登金)第3号	○			

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人資産運用業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (9：00～17：00 土日祝日・年末年始を除く) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	